

Maxi Sky 440



意匠方針と著作権

® および ™ は Arjo グループ会社に属する商標です。

© Arjo 2020.

当社の方針のひとつは継続的改善を掲げているため、事前に通知することなく設計を変更する権利を有します。この出版物の内容は、全部もしくは一部に関わらず Arjo の同意なしに、転写することを禁じられています。

一般情報	5
はじめに.....	5
サービスおよびサポート.....	5
製造元情報.....	5
本取扱説明書で使用する定義.....	6
使用目的.....	6
想定製品寿命.....	6
製品の品番.....	6
梱包内容.....	6
この取扱説明書の使い方.....	6
記号.....	7
安全の手順	8
一般的な注意事項.....	8
KWIKtrak™ 以外のレールシステムに関する追加情報.....	8
安全耐荷重.....	8
安全に関する重要事項.....	9
感電防止.....	9
防火および防爆.....	9
人と環境の安全対策.....	10
バッテリーと充電器の安全対策.....	10
製品の警告ラベル.....	10
在宅環境に関する注意事項.....	10
製品の説明	11
Maxi Sky 440 ポータブルリフトおよび充電ステーション.....	11
ハンドコントロール.....	12
充電器.....	12
表示機能.....	12
構成品一覧	13
スリング	14
対応スリング.....	14
Maxi Sky 440 の使用方法	15
スリングの使用法.....	15
患者と接する前に.....	15
患者の位置決め.....	15
取付方法.....	15
患者移乗.....	16
緊急停止.....	17
緊急下降.....	17
緊急ブレーキ.....	18
バッテリー情報.....	19
バッテリーの充電方法.....	19
保守・点検とメンテナンス	20
メンテナンス計画.....	20
有資格技術担当者による点検.....	21
日常のチェックリスト.....	22
洗浄.....	22
Maxi Sky 440 で特に掃除が必要な部分.....	22
ストラップの点検.....	23
取り扱いと保管方法.....	23
バッテリーの交換.....	23
充電器電源の電源.....	23

目次

スリングの点検および管理	24
年次点検	24
メンテナンス要件	24
トラブルシューティング	25
本製品上のラベル	26
技術仕様	27
リフト寸法	28
電磁両立性	29
電磁コンプライアンス	29
電磁エミッション	29
電磁イミュニティ	30

このたびは、Arjo から Maxi Sky® 440 ポータブルリフトをお買い上げいただきありがとうございます。

この Maxi Sky 440 は、特に在宅、介護施設および他のヘルスケア用途に設計された高品質製品シリーズの一つです。

当社はお客様のニーズにお応えすることに専念しており、最高の製品とともに、お客様である職員の方々が Arjo 製品から最大のメリットを引き出せるように製品トレーニングもご提供しております。

この Arjo 製品の使用または保守に関するご質問につきましては、最寄の Arjo 事業所にお問い合わせください。

はじめに

この取扱説明書は必ず全てお読みください。この取扱説明書の情報は、Maxi Sky 440 の適切な使用と保守において必要不可欠です。本製品の保護そして性能確保の上でも必要となります。

利用者 / 患者の持ち上げ（上昇動作）と移乗には常に危険が伴います。この取扱説明書には安全管理に関する重要な情報が含まれていますので、怪我を避けるためにも、熟読し理解しておく必要があります。

医療機器もしくは福祉機器に関連して、お客様または患者様に影響する重大な事象が発生した場合、その事象を機器製造元あるいは販売元に必ず報告してください。欧州連合では、ユーザは、重大な事象を居住する加盟国の所轄官庁にも報告してください。

警告：Arjo は、Arjo が供給する製品および他の機器には、Arjo が指定する部品のみを使用してください。不適切な部品を使用すると、怪我を引き起こす可能性があります。

警告：Arjo 製品に加えられるいかなる不正な変更も、その安全性を損なう恐れがあります。Arjo は、その製品に加えられた不正な変更の結果、生じるいかなる事故または不具合について、責任を問わないものとします。

適用規格：

サービスおよびサポート

Maxi Sky 440 の定期的な点検・保守作業は、Arjo の訓練を受けた有資格サービス担当者によって行わなければなりません。これにより、本製品のその安全性と機能が確保されます。「管理と保守」セクションを参照してください。

より詳細な情報が必要な場合、予想外の出来事を報告したい場合、または Maxi Sky 440 の設置、使用および保守に関するサポートが必要な場合は、Arjo 最寄の代理店にご連絡ください。当社の代理店では、本製品の長期的な安全性、信頼性および価値を最大化させるためのサポート・サービスプログラムをご用意しております。

交換部品に関しては、最寄の代理店にお問い合わせください。

この取扱説明書の追加コピーは最寄の Arjo 代理店から入手可能です。ご注文の際は、**取扱説明書部品番号（表紙を参照）**と製品部品番号を明記してください。

製造元情報

この製品の製造元：

ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö,
SWEDEN（スウェーデン）

☎: +46 (0) 10-335 45 00

☎: +46 (0) 413-138 76

🌐: www.arjo.com

一般情報

本取扱説明書で使用する定義

警告：

意味：これらの使用方法や注意事項に従わない場合、使用者自身および利用者様の怪我の原因となることがあります。

注意：

意味：これらの注意事項に従わなければ、本製品の不具合を引き起こすことがあります。

注記：

意味：これは、本製品の正しい使用に関する重要な情報です。

使用目的

Maxi Sky 440 は、病院や介護施設および在宅ケアを含む環境で、介助者が可動性に制限のある患者に対して適切な介助を支援できるように設計されています。

- 1) 椅子、車椅子、ベッド、浴槽、トイレ、床、またはストレッチャーなどへ/からの移乗
- 2) リハビリ訓練を受ける患者のサポート
- 3) 排泄介助やベッド上での体位変換の介助補助作業。

患者移乗は、訓練を受けた介助者の監督の下で、この取扱説明書に記載されている指示にしたがって実施して下さい。製品は上記の理由でのみ使用されなくてはなりません。Arjo の認定を受けた技術者が、地方自治体の条例・規定に従って設置してください。

想定製品寿命

本製品は、「点検と保守セクション」に規定のメンテナンスを前提条件として、耐用年数 7 年、または移乗回数 10,000 回（どちらか早い方）に基づいて設計、テストされています。

移乗回数と年数との間のおよその対比表は図 1 の表図 1 に記載されています。

1日あたりの移乗回数	年数 (移乗回数 10,000 回)
4	7
6	4.5
8	3.5

図 1

警告：製造元は、耐用年数を超えたポータブルリフトやまたはその付属品の完全な安全性を保証することはできません。部品の摩耗は製品本体やアクセサリーの不具合を引き起し、患者が落下する原因となることがあります。

本ポータブルリフトの上の赤のインジケータランプは、その耐用年数の約半分を経過した時点で点滅し、耐用年数が終了時点で再び点滅します。

本製品カセットの経年劣化、使用頻度（1日あたりの移乗回数）、患者の体重、およびメンテナンス頻度などが、Maxi Sky 440 の寿命に影響する要因です。

移乗は、患者の A 点から B 点への変位（移動）として定義されます。移送サイクルには、持ち上げ（上昇動作）と下降動作が含まれます。

布製スリングとストレッチャーの想定製品寿命は購入日から約 2 年です。この想定寿命は、スリングやストレッチャーが、「メンテナンス計画」に従ってクリーニング、保守および点検されている場合に限り適用されます。

バッテリー、ヒューズ、ランプ、スリング、ストラップおよびコードなどの消耗品の想定寿命は、本製品の点検頻度と使用頻度により異なります。消耗品は、取扱説明書、および「メンテナンス計画」に従ってください。

製品の品番

製品の識別番号（仕様、モデル、シリアル番号）は、そのハウジングの下に貼付けされている銀色の銘銀上に表示されています（26 ページの図 17 を参照）。

梱包内容

本製品の受領時には、パッキングリストに基づいて、出荷漏れがないことを必ず確認してください。発送中に損傷がないことを確認してください。その場合には、最寄の Arjo の代理店にご連絡ください。

この取扱説明書の使い方

警告：この取扱説明書に含まれている情報をきちんと理解せずに、このリフトを使用しないでください。本製品の誤った使用は、患者の落下および怪我の原因となることがあります。

この取扱説明書は常に本リフトと一緒に保管して、必要に応じて参照してください。

記号

一般的な記号	記号の説明
	製造日とメーカーの住所を示します。
	欧州共同体統一法への適合を示す CE マーキング。
	カナダ規格協会 (CSA) の承認を受けている事を示します。
REF	メーカーのカタログ番号が付いています。
SN	メーカーのシリアル番号が付いています。
	取扱説明書を参照。
	電気・電子機器廃棄物 (WEEE) - 一般的な家庭ゴミまたは商業ゴミと一緒に本製品を廃棄しないでください。
	巻き込み事故のリスクがあることを示します。
SWL	リフトの安全操作のための最大定格耐荷重を表しています。
IP_{N₁N₂}	筐体の保護等級を示しています。N ₁ : 粒子の侵入、N ₂ : 水の侵入。
	直流 (DC)。
	交流 (AC)。

一般的な記号	記号の説明
	BF 型装着部を示します。
	本製品が EU 医療機器規制 2017/745 に準拠した機器であることを示します。

充電器関連記号	記号の説明
	二重絶縁電気機器であることを示します：これは感電に対する保護が基礎絶縁だけに依存しない電気機器に関する用語です。

安全の手順

質問やご不明な点がある場合、または本製品の性能変化にお気づきの場合は、最寄の Arjo 代理店にご連絡ください。

一般的な注意事項

注意：*Maxi Sky 440* は患者移乗専用機です。他のいかなる用途にも使用しないでください。損傷や、患者の安全性が損なわれる可能性があります。

警告：スリングは必ず同梱されている取扱説明書に従って患者の体に装着してください。それを怠ると、使用者または他者への怪我の原因となることがあります。

注意：本カセットを落とさないでください。内部の損傷を引き起こす恐れがあります。ポータブルリフトに損傷の疑いがある場合は、最寄の Arjo 代理店にご連絡ください。

注記：Arjo 製リフトは KWIKtrak™ システム、スリングや付属品に対し特別に設計されています。

KWIKtrak™ 以外のレールシステムに関する追加情報

Arjo によってこのリフトカセットは KWIKtrak 以外のレールシステムに適合化されている可能性があります。この場合、*取扱説明書*には追加情報 (001-14350-XX) を付ける必要があります。この書類は下記に関する重要な情報を提供します。

- レールシステムの限界
- 特定部品の説明

警告：KWIKtrak ではなく、レールシステムと一緒に *Maxi Sky 440* を使用する前に、必ずその適合付属品の追加情報を良く読んで理解しておくようにしてください。

安全耐荷重

Maxi Sky 440 は持ち上げ能力 200kg (440lb) に設計されています。

警告：*Maxi Sky 440* は、規定の安全耐荷重以内の患者に使用されることを意図しています。以下に表示されている体重制限を超える重量の持ち上げを試みないでください。

- レールシステム
- 本製品上の「最大安全耐荷重」ラベル
- その付属品
- スリング

これらの重量の超過は、患者の落下および怪我の原因となる恐れがあります。

安全に関する重要事項

必ず以下の徹底を図ってください。

- ポータブルリフトは、Arjo 有資格工事請負業者または施工業者によって設置してください。
- 本製品は訓練を受けた介助者によって使用してください。
- 本製品のレールが、ポータブルリフトの使用荷重と同等またはそれ以上の荷重に耐えるように取り付けポータブルリフトられている。

警告：患者の移乗を試みる前に、資格ある医療専門家が、その患者の移乗適合性に関する臨床的評価を行う必要があります。患者の移乗は、とりわけ、患者の身体に相当な圧力を引き起こす可能性があります。移乗適合性の低い患者を移乗すると、患者の健康状態が悪くなる可能性があります。

- 電極、カテーテルまたは他の医療機器に接続されている患者の移動には特別な配慮を払って下さい。
- 移動中の強烈な衝撃を回避する。
- スリングに損傷、裂け目またはほつれがない。
- この取扱説明書にある持ち上げ手順が遵守されている。
- すべての制御機能および安全機構がこの取扱説明書に規定されている規則に従ってのみ使用されている。本製品の安全制御やボタンを、無理に力づくで操作することは絶対にしないでください。
- 本充電器をシャワー室、浴室または他の高湿度環境で保管しないこと。
- スリングストラップが良好な状態に保たれており、適正に装着されている。
- 本リフト使用前には日常保守が行われること。
- 本リフトを保管する場合、保管エリアの湿度は 100% を超えてはいけません。
- Maxi Sky 440 保管時の周囲温度範囲は -25°C から 70°C (-13°F から 158°F) です。

警告：この製品には、子供が飲み込んだり、吸引したりすると、窒息の危険性がある小さな部品が含まれています。

警告：Arjo ストラップまたは手元スイッチのコードに関連する巻き込み事故の危険性があることを警告します。そのような事故を防止するため、必要な予防措置を講じる必要があります。

注意：本製品の誤動作を避けるため、リフトのすべての部品を清潔で乾燥した状態に保ってください。

注意：ハンドコントロールへの水（または他の液体）の過剰な暴露は、本装置の誤動作を引き起こす可能性があります。

感電防止

- 製品の銅線または損傷した電源コードが使われている場合、直接触れたり、製品を使用したりしないでください。その場合は、ただちに最寄の Arjo 代理店にご連絡ください。
- 本製品を水や湿気にさらさないでください。
- 銘板をチェックして入力電圧要件と周波数の要件を確認してください。これらの要件は国によって異なります。電圧要件と周波数要件の異なる場所では、本リフトを使用しないでください。
- 本製品、バッテリーまたは充電器の暴露、サービスまたは修理を試みないでください。製品が正常に機能しない場合は、最寄の Arjo 代理店にご連絡ください。
- バッテリーや充電装置を使用する前または保管する前に、その注意事項を熟読してください。

防火および防爆

警告：本バッテリーを直射日光のあたる場所や熱源の近くに配置したり、保管しないでください。

警告：バッテリーまたはバッテリー充電器を火気に近づけないでください。バッテリーや充電器から化学物質が漏れ出す可能性があります。

警告：可燃性麻酔薬ガスがある場所で、本充電器を使用しないでください。麻酔ガスは可燃性です。本充電器内部で火花が発生し、内部破壊を引き起こす可能性があります。

- 本バッテリーの端子間を短絡させないでください。
- 本バッテリーを焼却しないでください。

安全の手順

人と環境の安全対策

- バッテリーケースが割れてバッテリー液が皮膚や衣類についた場合、直ちに水で洗い流してください。
- バッテリー液が目に入った場合、直ちに大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- バッテリーの内容物を吸引すると、呼吸器系に刺激を引き起こす可能性があります。新鮮な空気にて深呼吸し、医師の診断を受けてください。
- バッテリーのリサイクルと廃棄に関しては、WEEE 指令（廃電気電気機器）の規定ならびに現地の地方条例に従ってください。規定や法令を遵守しない場合は、バッテリーの爆発、漏出および怪我を引き起こすことがあります。バッテリーを返送する場合は、その端子を接着テープで絶縁してください。さもなければ、その使用されたバッテリー内部の残留電気により、火災や爆発を生じることがあります。下の図2は、廃棄記号とリサイクル記号を示します。

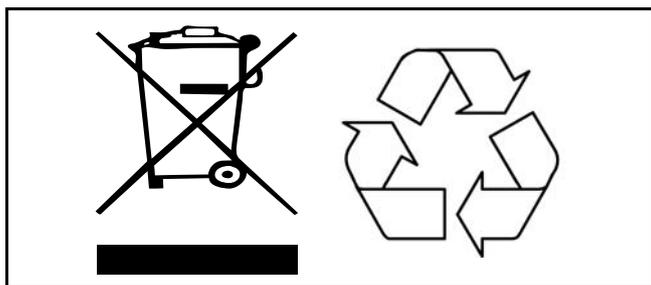


図2

バッテリーと充電器の安全対策

警告：これらの注意事項に従うことは、バッテリーを安全に使用し、ユーザー（入所者/介助者）を危害から守る上で重要です。

この製品のバッテリーは充電式です。

本製品用に設計されているバッテリーだけを使用してください。それが確認できないバッテリーは、使用しないでください。バッテリーを使用する際は、そのバッテリーのラベルを**取扱説明書**の技術仕様と比較参照して、バッテリーが本装置用に適合することを必ずご確認ください。バッテリーのタイプを確認できない場合は最寄の、Arjo 代理店へお電話で連絡ください。

- バッテリー充電器やコネクタを水にさらさないでください。
- 本バッテリーまたは充電器を火気に近づけないでください。

人体への障害を避けるため、本バッテリーを圧縮、破裂、分解、解体または別の方法で機械的な干渉を加えないでください。

本バッテリーに損傷や変形がある場合はすぐに使用を中止してください。使用を再開する場合には、事前にテクニカルサービスへご連絡ください。

本バッテリーの正しい廃棄とリサイクルの方法は、「技術仕様」を参照してください。

- バッテリーを落とさないように注意してください。
- 本リフトに同梱されている充電器だけを使用してください。
- 換気されていない場所では、本バッテリーを充電しないでください。
- 本充電器をカバーしたり、埃にさらさないでください。
- 充電器は、乾燥した場所および通常の湿気状態の場所を念頭に設計しています。
- バッテリーを気温が 70°C (158°F) より高い所で保管しないでください。

製品の警告ラベル

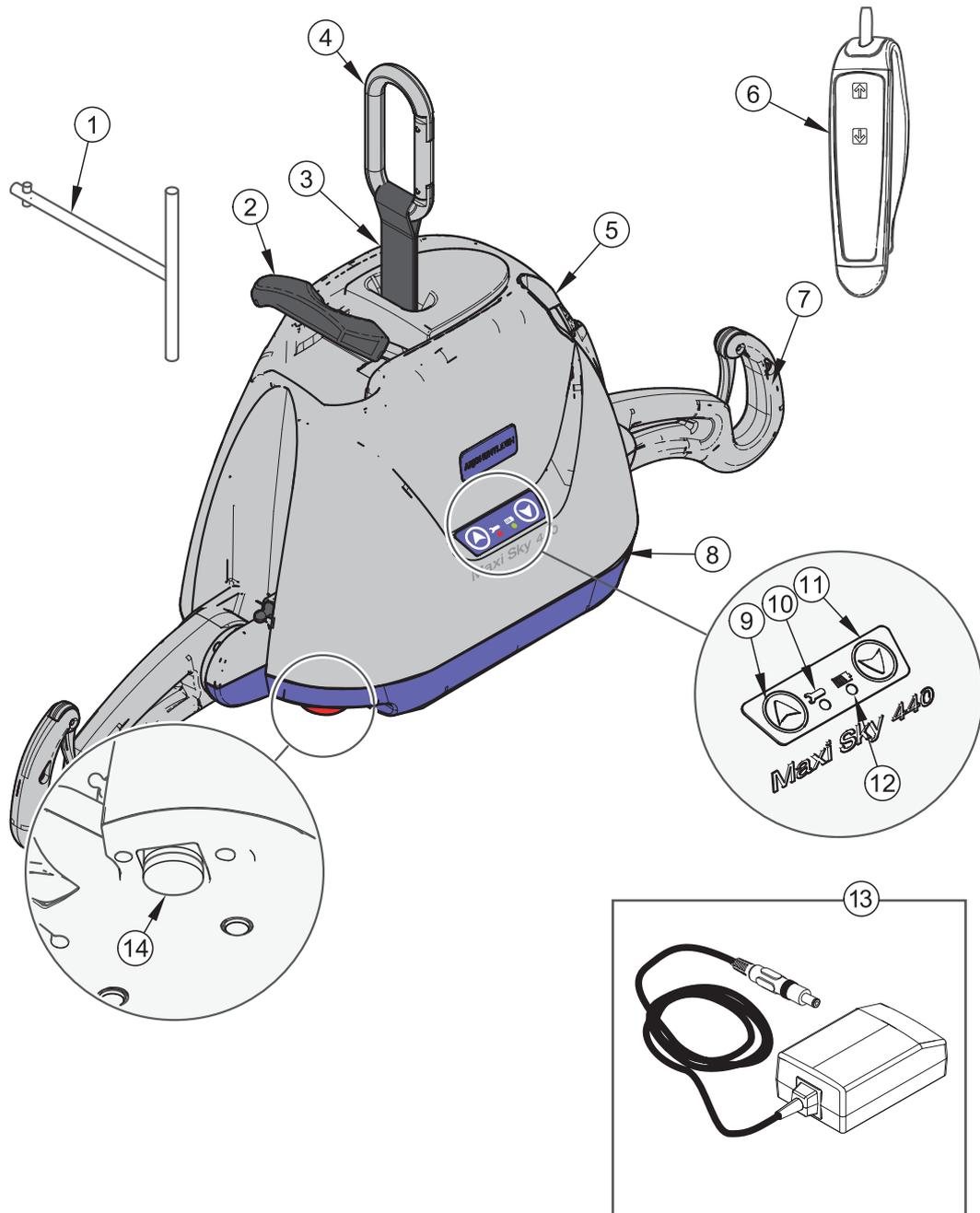
- 本バッテリーのラベルをよく読んで、その注意事項に従ってください。
- 本製品上すべてのラベルを点検してください。判読困難なすべてのラベルは注文して交換してください。

在宅環境に関する注意事項

警告：Maxi Sky 440 は子供が操作することを想定していません。重篤な怪我を負う可能性があります。

注記：Maxi Sky 440 が動物に接触した場合は、厳格な洗浄・消毒処置を行う必要があります。本製品の内部に（ストラップの開口部を通して）付着したペットの毛は本製品の性能を低下させる可能性があります。

Maxi Sky 440 ポータブルリフトおよび充電ステーション



凡例

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1) 緊急下降機能 | 8) DC 充電器のインレット |
| 2) 引っ掛けフック | 9) 上昇 ボタン |
| 3) ストラップ | 10) 保守・点検インジケータランプ |
| 4) カラビナ | 11) 下降ボタン |
| 5) ハンドコントロールホルダー | 12) 充電インジケータランプ |
| 6) ハンドコントロールユニット | 13) 充電器 (主電源アダプタ付き) |
| 7) サポート | 14) 緊急停止ボタン |

図 3

製品の説明

ハンドコントロール

Maxi Sky 440の手元スイッチは、ポータブルリフトの操作に使用します。各機能については、図4に説明されています。UPとDOWNボタンはリフトを上昇/下降させます。

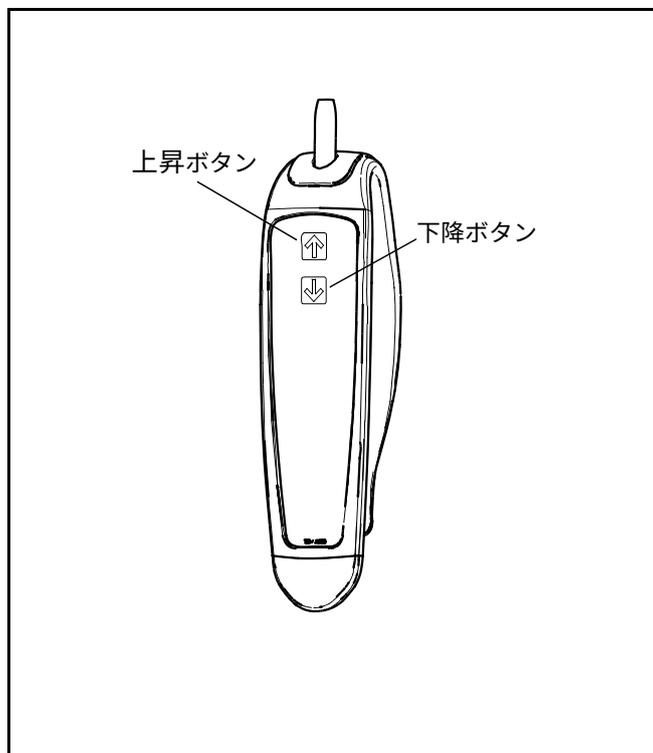


図4

充電器

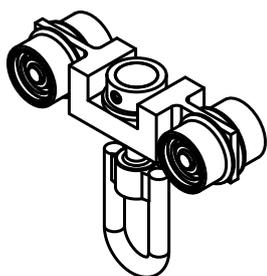
Maxi Sky 440には現地のAC電圧のコンセントに対応するように、カスタマイズ可能な壁対応型充電器（図3を参照）が装備されています。

注記：コンセントへのアクセスが限定され、接続を外すことが困難な場所には、本充電器を設置することは避けてください。

表示機能

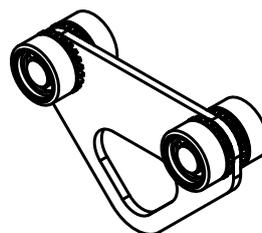
バッテリーの残量		
(黄色) 	点滅	バッテリー充電中
	点灯	充電完了；バッテリー充電済み
保守・メンテナンス		
(赤色) 	点滅 (ビープ音なし)	最寄りの代理店による保守が必要です。
	点灯 (ビープ音あり)	保守・メンテナンスの期限が切れています本リフトの使用を停止し、最寄りの代理店にご連絡の上、点検・メンテナンスをご依頼ください。

図5



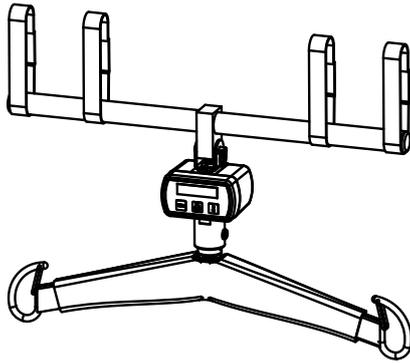
スィベルトロリー

ポータブル天井走行リフト用のスィベルトロリーは、リフトをレールシステムに沿って移動させ、吊り下げ点を中心に回転させるために使用します。



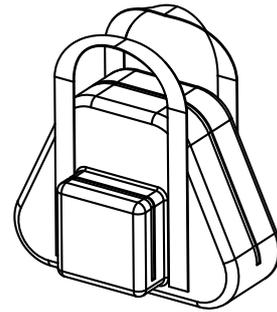
トロリー

ポータブル天井走行リフト用のトロリー。リフトをレールシステムに沿って移動させるために使用します。

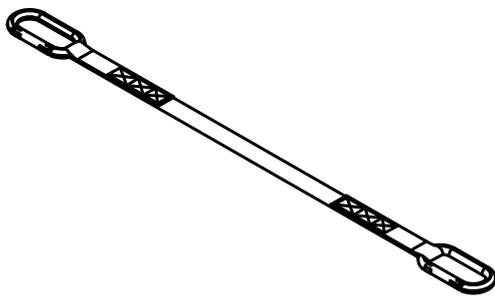


スケール

スケールアダプターでスケールを使用する場合は、スケール取扱説明書およびスケールアダプター取扱説明書を参照してください。



キャリーバッグ



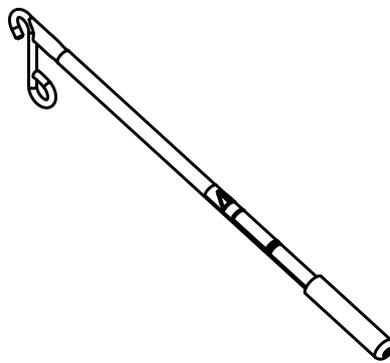
ストラップエクステンション

ストラップエクステンションを使用するには、ストラップエクステンション取扱説明書を参照してください。



スイベルアダプター

スイベルトロリーは、リフトを吊り下げ点を中心に回転させるために使用します。



マジックハンド 24" & 36"

マジックハンドを使用するには、マジックハンド取扱説明書を参照してください。

図 6

注文は、最寄り Arjo の代理店にお問い合わせください。

警告:すべてのトロリーがレールシステム必ずしも全てのレールシステムに対応するとは限りません。詳しくは、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

スリング

対応スリング

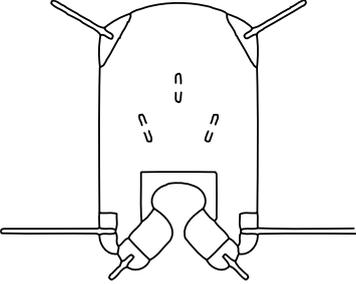
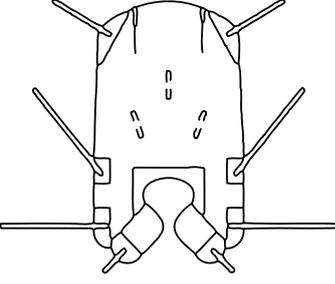
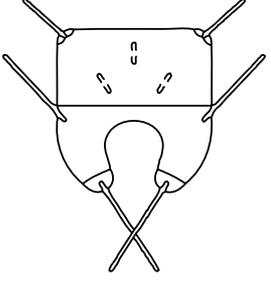
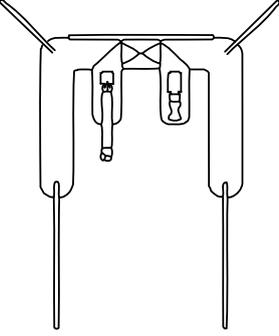
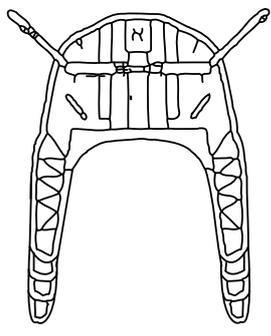
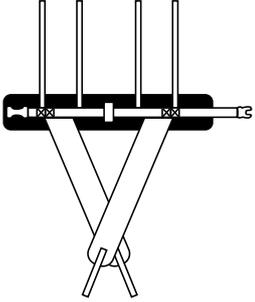
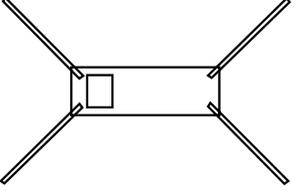
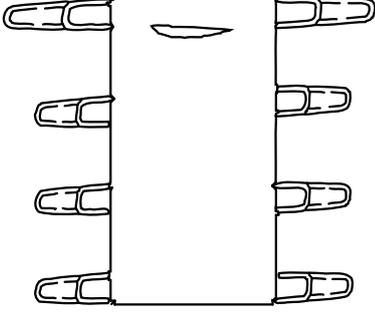
 <p>ハンモックスリング</p>	 <p>ハンモック6スリング</p>	 <p>クイックフィットスリング</p>
 <p>入浴用スリング</p>	 <p>コンビスリング</p>	 <p>ウォーキングスリング</p>
 <p>下肢スリング</p>	 <p>体位変換スリング</p>	

図7

注文は、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

Maxi Sky 440 の使用方法

警告：すべてのレール端部はエンドストッパーで閉じるか、他のレールコンポーネントに接続してください。使用前には、すべてのエンドストッパーが所定の位置に取り付けられ、固定されていることを確認してください。これらの品目を不正に取り付けると間違った設置は患者の落下および患者への怪我の原因となることがあります。

警告：本リフトは、決して患者に操作させないでください。極めて稀な故障状況により、患者が本製品内で動きが取れなくなるような事態が発生することもあります。

スリングの使用法

2点式スリングサポートは、全ての Arjo ループ取付スリングに対応しています。

すべてのスリングのサイズは、異なる色の縁ストラップまたは取付ストラップ色で色分けされています。

- ・ グレーまたはティール - XXS
- ・ 白または茶色 - XS
- ・ 赤色 - S
- ・ 黄色 - M
- ・ 緑色 - L
- ・ 青 - XL
- ・ テラコッタ - XXL

Arjo では特別な患者のために、は多くのスリングにヘッドサポートのオプションをご用意しています。特殊目的のスリング製品群のラインアップは、オプションとして入手可能です。これらのスリングまたは特殊サイズのスリングをお求めの際は、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

警告： Arjo Flites スリング（使い捨て）を Maxi Sky 440 に使用する場合、使用前にこれらの注意事項だけでなく、前記 Arjo Flites の操作説明書を、必ず参照してください。

患者と接する前に

介助者は患者に対し次に何を行うかを随時知らせてあげてください。また、用意したスリングが Maxi Sky 440 での移動を行う為に適切なモデルとサイズである事を必ず確認してください。

患者移乗を行う前に、患者の全身状態を評価することが重要です。例えば、動揺している患者には特殊なタイプのスリングが必要です。

患者の位置決め

選択される特定のスリング用ループは、患者位置を確定します。異なるループの組み合わせを使用して、半座位姿勢から患者を持ち上げ、移動することができます。

ループストラップの選択に応じた体位			
肩部	肩部	脚部	臀部*
			
	3	1	2
	2	1	2
	1	1	2
	1	2	1

* ヒップループは、THA6i モデルでのみご利用いただけます。

注記：多くのループがあるスリングにより、さらに多くの移乗姿勢での移動が可能になります。

取付方法

ループスリングは、患者に装着した後に、3通りの方法で取り付けることができます。下に記載する3つの方法は、いずれも最初にスリングの各ショルダーリングをスプレッダーバーの両側に接続する必要があります。

スリング取付のポイント

ここで挙げる取付具のポイントの名称は、以下の説明のためのものです。

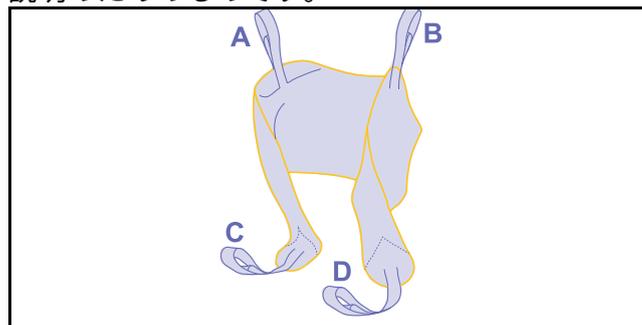


図 8

Maxi Sky 440 の使用方法

方法 1 — クロス

(脚部が交差ストラップで閉じた状態)

この方法は、ほとんどの一般的な移乗に推奨されます (参照図 9)。

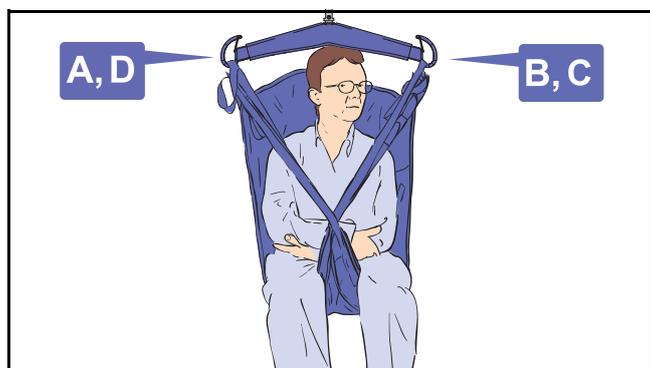


図 9

方法 2 — ハンモック

(ブリッジ、脚部は閉じた状態)

この方法は、切断患者に快適な乗り心地を提供することができます。

また、患者の脚部間にスリングストラップを取り付けることが困難な、拘縮がある患者に有用な方法です (図 10 を参照)。



図 10

警告：この方法は錯乱患者や好戦的な患者または精神障害がある患者は、前方に落下する恐れがあり不適切な場合もあります。

方法 3 — 個別取り付け

(脚が非交差ストラップで閉じた状態)

この方法は、脚部の外転状態を保つことができるため、排泄介助および衛生管理がしやすい方法です (図 11 を参照)。

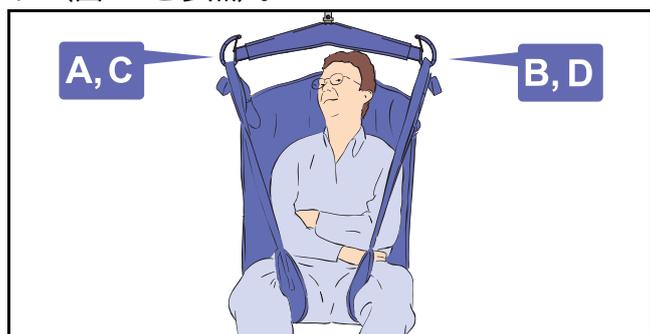


図 11

警告：この方法は、上半身不随患者の場合、ずり下がってスリングから抜けてしまう可能性があるため、不適切な場合もあります。

患者移乗

患者移乗手順を開始するには：

- 1) 「患者にスリングを装着」セクションに従って、患者にスリングを装着します。
- 2) 一方の手でストラップの張力を維持しながら、他方の手でハンドコントロールの DOWN ボタンを押しストラップを伸ばします。

注記：本リフトが機能するためにはストラップに張力が必要です。

- 3) カラビナをトロリーに取り付け、リフトを患者の上へ移動します。
- 4) リフトを患者の顎下まで下降させ、スリングストラップを取り付ける前にサポートを広げます。(これは、本リフトが動いて患者の顔に当たるのを防ぎます)。

注記：仰臥位の患者の場合は、本リフトを患者胸部近くまで下降させ、スリングサポートを広げ、次いでストラップを取り付けます。

注記：スリングの背部に付いたハンドルで、介助者が最適な位置決めを行うことができ、患者の安全性が高まります。

- 5) スリングを取付ける際は、本リフトの両側にあるスリングサポートを広げます。ストラップループをサポートに挿入して、ストラップを穏やかに引っ張りだします。
- 6) ストラップがフックに入るため、サポートの安全ラッチが回転します。安全ラッチが自動的に閉じ位置にリフトが持ち上がるにつれてストラップがサポート内部に引っ掛かります。安全ラッチがスリングサポートのストラップ用開口部で閉じていない場合は、患者移乗を試みないで下さい。

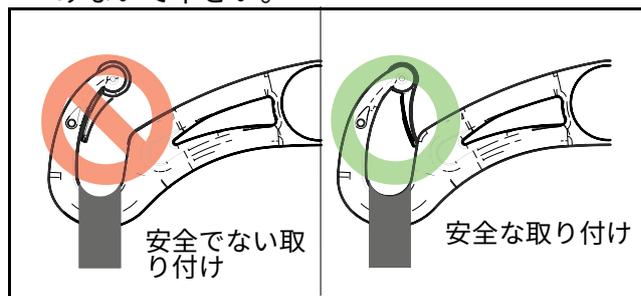


図 12

Maxi Sky 440 の使用方法

警告：患者を持ち上げる前に：

- 1) すべてのストラップが本リフトのスリングサポートに装着されていることを確認してください。
- 2) 患者の腕が移動の邪魔にならないことを確認してください。
- 3) スリングが障害物（車椅子のブレーキまたはアーム）に接触したり絡まったりする事を必ず確認してください。

上記問題のいずれかが発生した場合は、直ちに患者を下降させ、その問題を是正してください。これらの状況は、いずれも患者の落下させる原因となる恐れがあります。

- 7) 患者を持ち上げるときは、ハンドコントロールの UP ボタンを押します。
- 8) 患者を移乗する前には、患者の臀部が車椅子のアームサポート、浴槽またはベッドの上部よりも高くなるまで、本リフトを上昇させてください。患者の脚部が障害物に触れないようにガイドします。

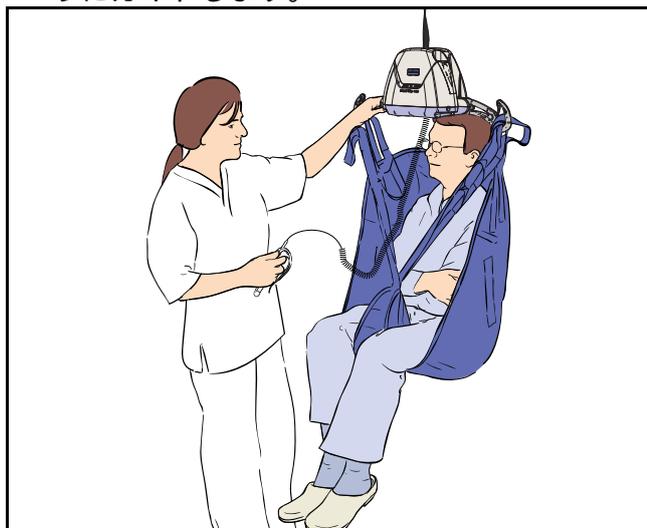


図 13

- 9) 患者を移乗先に移動させたら、下降できる準備が整った時点で、下降 DOWN ボタンを押します。
- 10) 患者が正しい座位姿勢をとれたら、ストラップを緩め、本リフトからスリングを外します。

警告：接触を防ぐため、患者に近接しているときは、片手で天井走行リフトのスプレッダーバーを常に抑えてください。

- 11) 本リフトをスライドさせて患者から遠ざけます。本リフトをトロリーのフックから外し、ハンドコントロールを使用してストラップを短くします。このとき、患者の体からスリングを外すことができます。

- 12) Maxi Sky 440 が必要なくなったら、ポータブルリフトを充電器に戻してそのプラグを差し込みます。

警告：介助者は、患者移乗の全体を通じて絶えず患者に注意を払ってください。介助者は、患者移乗全体を通して絶えず患者様に注意を払ってください。本装置で、極めて稀ではありますが、故障が発生した場合も、介助者はその事態に対応する準備をしてください。

緊急停止

本リフトの介助者は、本リフトの下にある赤のキノコ型緊急ボタンを押すことで、いつでも製品動作を停止することができます。本ボタンは、矢印方向に回す事によってリセットされます。初めて本リフトを使用する介助者は、患者を乗せて操作にする前にこの停止操作を練習して下さい。

緊急下降

Maxi Sky 440 には、電気系統が作動しない場合でさえもリフトを下降させることができる特別安全機能が備わっています。

本リフトの右側（折たたみ式スリングサポートの近く）に位置する緊急下降装置は、この取扱説明書に同梱の特殊工具を挿入することによって起動します。

患者を安全に下降させるには、図 14 に説明されている手順に従ってください。

- 1) 本リフトの下にある赤の緊急停止ボタンを押します。患者を乗せたリフトを、ベッドまたは車椅子上に移動します。
- 2) 緊急下降機能挿入口のプラスチックキャップカバーを取り除きます。
- 3) 前記の特殊工具を開口部に挿入します。患者を降下させるには時計回りに回します。工具を回すと、昇降モーターを直接回転させる事ができ、患者を徐々に下降させることができます。患者をベッド上または車いすに安全に降下させたら、工具をリストから取り除きます。Maxi Sky 440 の点検・整備は、有資格技術担当者へお電話でご連絡ください。

注意：緊急下降機能は、緊急時だけに使用してください。

Maxi Sky 440 の使用方法

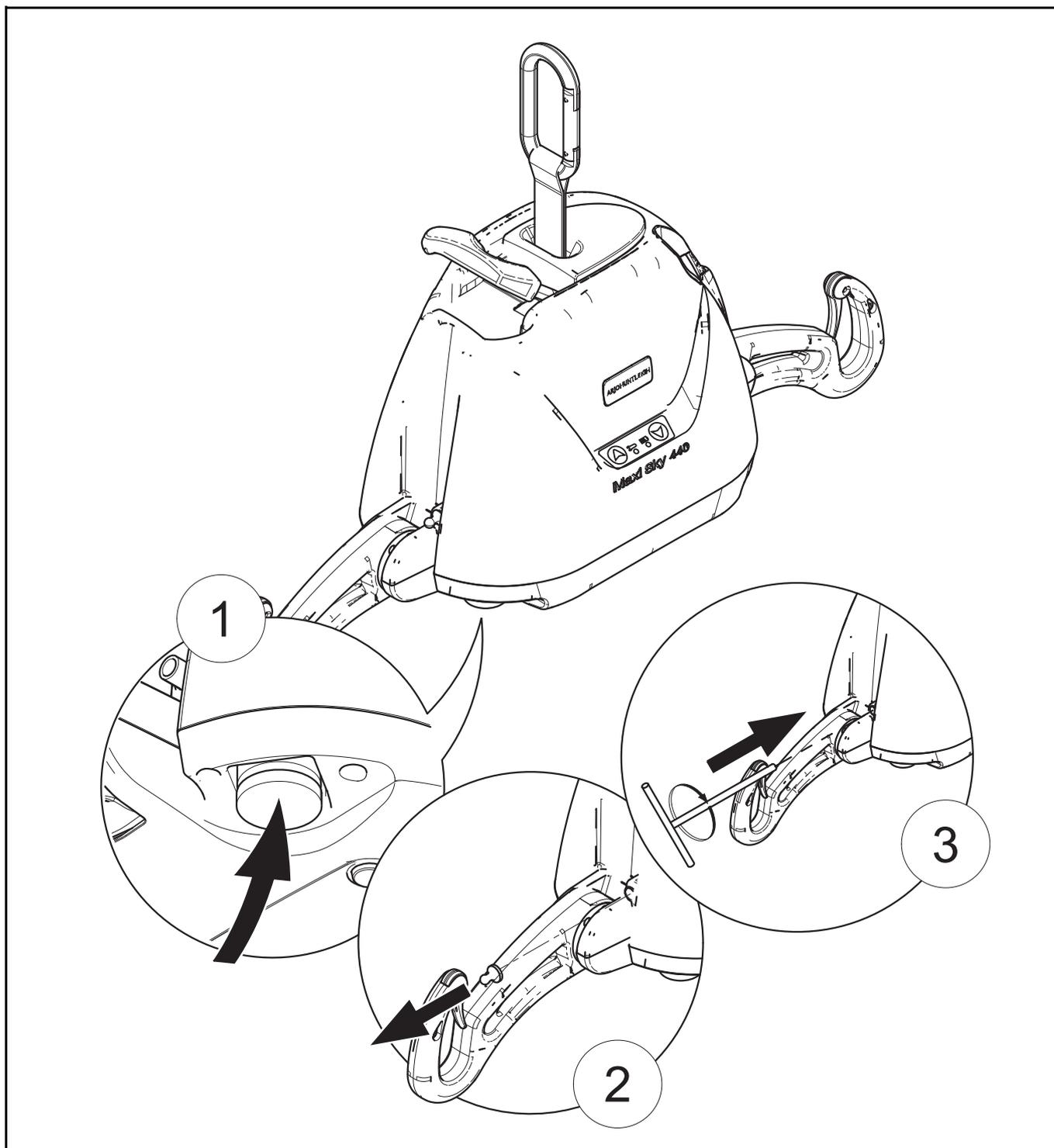


図 14

緊急ブレーキ

緊急ブレーキ機能は、トランスミッションやまたはモーターの故障など、極めて稀な事象ですが、患者の落下を自動的に防止する安全追加機能です。

警告：機械的問題が発生し、本ブレーキ機能が作動した場合、本ブレーキを解除したり上昇ボタンを押したりすることは絶対に避けて下さい。本ブレーキが外れ、患者が落下する恐れがあります。緊急下降装置は使用できません。

警告：緊急ブレーキが働いている状態では、絶対にポータブルリフトを使用しないでください。患者を下降させるには他の機器を使用してください。リフトを強制的に移動させると患者を落下させる原因となることがあります。

緊急ブレーキ機能は、1回だけの起動（単回使用）が意図されていますので、1回だけ使用する事ができます。本製品の交換品については最寄りのArjo 代理店へお電話でご連絡ください。

Maxi Sky 440 の使用方法

バッテリー情報

バッテリーの安全な取り扱いとバッテリーを長く使用するためには、これらの注意事項に従いました、覚えていてください。

警告：これらの注意事項に従わないとバッテリーの寿命を縮める可能性があります。

本製品用に設計され表示されているバッテリーだけを使用してください。確認できないバッテリーは使用しないでください。使用しようとするバッテリーはそのバッテリーのラベルをこの取扱説明書の技術仕様と比較参照して、本製品に適合することを必ず確認してください。バッテリーのタイプを確認できない場合は最寄の、Arjo 代理店に連絡してください。

バッテリーの寿命は多くの要因により変化します。それらの要因は以下の通りです。使用頻度、充電の頻度、動作温度、保管および保管時間があげられます。

鉛蓄電池を 20% 以下の鉛蓄電池を使用すると、バッテリーを損傷し、バッテリーの寿命が縮まる可能性があります。

必要時にすぐに使える交換用のバッテリーを必ず用意しておいてください。予備バッテリーを 1 個在庫するように該当部門に依頼してください。

Maxi Sky 440 に含まれているのバッテリーは、1 回充電あたり、10 ~ 30 回程度の患者移乗が可能です。

注記：バッテリーの寿命を伸ばすため、ポータブルリフトポータブルリフトを使用していないときは必ず、充電器を本リフトの DC 充電器プラグに差し込んでください。低バッテリー残量表示のピープ音がなったら、なるべく早くバッテリーを充電するようにしてください。本リフトを再び使用する前には、充電インジケータランプが黄色に点灯するまでバッテリーを充電してください。これは、バッテリーの寿命を伸ばします。

注記：Arjo には密閉形鉛蓄電池が使用されています。これらの蓄電池はいかなるメモリー効果の影響も受けません。よって、これらの蓄電池は、充電する前に完全に放電させるべきではありません。

バッテリーの充電方法

警告：電源コードが破損している場合、または本リフトが落下したり損傷している場合は、充電器を使用しないでください。電源コードを強制的に曲げたり、その上に重い物を置いたりしないでください。電源コードの損傷を招き、火災や感電の原因になる可能性があります。

バッテリーの充電手順は以下の通りです：

- 1) 充電器のプラグを、100 V ~ 240 V の定格電圧入力コンセントに差し込みます。
- 2) 充電器 DC コネクタを Maxi Sky 440 DC インレットに差し込みます。
- 3) バッテリーの充電中、充電器インジケータは黄色で点滅します。バッテリーが満充電されると、充電表示は点灯状態になります。本製品はすぐに使用できる状態です。(12 ページページの図 5 を参照)。
- 4) 本バッテリーの残量が低い場合、フル充電には約 2 時間かかります。

注記：本リフトは、本充電器からのエネルギーを直接使用して操作できません。本リフトの充電中にその機能を起動しようとしても、製品を起動することはできません。

再び本リフトを使用する際は、本充電器のプラグを抜いて下さい。

本充電器のプラグは、本リフトに差し込んだままにすることができるので、夜間充電に便利です。本リフトは、充電器やバッテリーを損傷することなしに、長期間にわたって充電することができます。

バッテリーが完全に放電されてしまっている場合、完全な再充電には最大 6 ~ 8 時間かかります。充電時間を短縮するため、バッテリーを完全に放電させることを避け、未使用時にはポータブルリフトを充電器に接続したままにします。

注記：本充電器のプラグを本リフトの DC 充電器のインレットに差し込んでも充電表示が点灯または点滅しない場合は、「トラブルシューティング」セクションを参照してください。

注意：Arjo から供給されていないバッテリーは使用しないでください。これらのバッテリーは、Arjo 充電システムの為に特別に設計されています。認定されていないバッテリーの使用を試みると、本リフトおよび / または本充電器が著しく損傷する恐れがあります。

保守・点検とメンテナンス

メンテナンス計画

本製品は機械の特性上劣化しますので、当初の製造基準を保つため、以下のメンテナンス手順を指定時に行う必要があります。「管理と保守・メンテナンス」は、以下の「メンテナンス計画」に従い、行ってください。

これらの顧客義務は、この取扱説明書の注意事項に従って有資格担当者が行う必要があります。

警告：以下のチェックリストに記載のメンテナンスは、メーカーが推奨する最低限度です。一部の地域では、より頻繁に点検を行う必要があります。定期的に点検することなく、あるいは不具合が見つかりながら本製品を使用し続けると、使用者および患者の安全を著しく危険にさらすことになります。地方自治体の条例および基準は、製造メーカーの基準よりもさらに厳しい場合があります。耐荷重テストが推奨されます。サービスおよびメンテナンスは製造メーカーに依頼することが可能です。この取扱説明書で規定されているメンテナンスを行うことで、事故を防止するとともに、修理コストを低減させることができます。

警告：安全性に関する保守および認定サービスは、Arjo, によるメンテナンスサービス手順の十分な訓練を受け、適正な工具と、部品リストおよびサービス取扱説明書を含む適正な文書を備えた有資格担当者が行う必要があります。これらの要件が満たされない場合は、怪我および/または危険な製品状態が生じる可能性があります。

警告：リフトを患者様に使用している最中に、保守及びリフトの点検整備は絶対に行わないでください。

ユーザー点検

処置 / チェック	初期	毎回の 使用前	2ヶ月ごと	4ヶ月ごと	1年ごと	2年ごと
リフト装置						
金具類の欠損または本体の破損の点検。	X	X			X	
ストラップの磨耗を点検します。		X	X			
引っ掛けフックに損傷がないかどうかを点検します（緩みや割れ）。		X				
バッテリーを充電します。		X				
本リフトのストラップの折たたみ式のスリングサポートを点検して損傷や割れがないかを確認します。					X	
レール内のホイールを点検して、損傷、錆やまたは亀裂がないことを確認する。破損している場合は交換する。					X	
本レールの洗浄。				X		
有資格担当者による総点検。					X	
スリングおよび金具類						
すべてのスリング付属部品磨耗の兆候をチェックします。		X				
スリング素材の摩耗や劣化を点検します。		X				
スリングストラップの摩耗を点検致します。		X				
「縫合部」の欠陥や糸のほつれを点検します。		X				
タグに表示されている指示に従ってスリングを洗浄。					必要時	
緊急停止ボタンを検証します。				X		
緊急下降機能を確認します。				X		

保守・点検とメンテナンス

有資格技術担当者による点検

処置 / チェック	初期	毎回の 使用前	2ヶ月ごと	4ヶ月ごと	1年ごと	2年ごと
ストラップを交換する。						X
フレームの溶接部を点検して、亀裂がないことを確認。					X	
トランスミッションの点検をします。					X	
接続部の適切な取り付けを点検します。					X	
ドラムの緊急ブレーキが異常なく自由に回転することを検証します。					X	
各緊急装置が異常なく良好に機能していることを検証します。					X	
SWL（安全耐荷重）による耐荷重テスト					X	

警告：サービス作業後には必ずレールエンドストッパーを再度取り付けしてください（取り除かれている場合）。これらのストッパーは安全機構の一部です。これらのストッパーが所定の位置に取り付けられていないと、トロリーがレールから外れて落下し、患者が落下する事故を引き起こす可能性があります。

警告：トロリーが、ストッパーとレールシステムに適合することを必ず確認してくださいレールシステム。

保守・点検とメンテナンス

日常のチェックリスト

使用前には毎回必ず以下の手順に従ってください。

- バッテリーを充電します。リフト未使用時は、必ず充電器に接続するようにください。
- リフトを点検して破損がないことを確認します。リフトのハウジングが正しく位置で合っていないような場合、またはリフトに亀裂や他の破損があるとき、さらには部品が欠損しているときは、リフトを使用しないでください。最寄の Arjo 代理店にご連絡の上、リフトの点検・メンテナンスを依頼してください。
- ストラップを点検して、磨耗、擦り切れ、糸のほつれや他の損傷の明らかな兆候がないことを確認します。損傷の形跡がある場合は、それを使用しないでください。最寄の Arjo 代理店にご連絡の上、リフトの点検・メンテナンスを依頼してください。
- スリングを点検して、裂け、ストラップの擦り切れまたは縫い目のほつれがないことを確認します。スリングに上記損傷が見られた場合は、それを使用しないでください。最寄の Arjo 代理店までご連絡の上、スリングの交換または修理を依頼してください。
- 折りたたみ式サポートを点検して、亀裂や損傷の兆候がないことを確認します。ストラップ上部のカラビナを点検して、正しく取り付けられていることを確認します。

洗浄

以下の目に見える残留物を取り除きます：

- 1) 水を含浸させた布を使用します。
- 2) *Maxi Sky 440* 上の目に見える残留物を取り除きます。洗浄は、上部から下方に向かって行います。

洗浄：

- 1) 温水と中性洗剤で湿らせた布を使用してください。
- 2) すべての目に見える残留物を除去しながら、装置を上から下に拭いてください。
- 3) 洗剤が残っているときは、きれいな水ですすぎます。乾いた布できれいに拭き取ってください。

注記：以下の箇所には特別な注意を払ってください。これらは、病原菌の温床となる可能性が最も高い箇所です。これらの箇所にアクセスするには、小さなブラシおよび / または綿棒などを使用してください。

Maxi Sky 440 で特に掃除が必要な部分

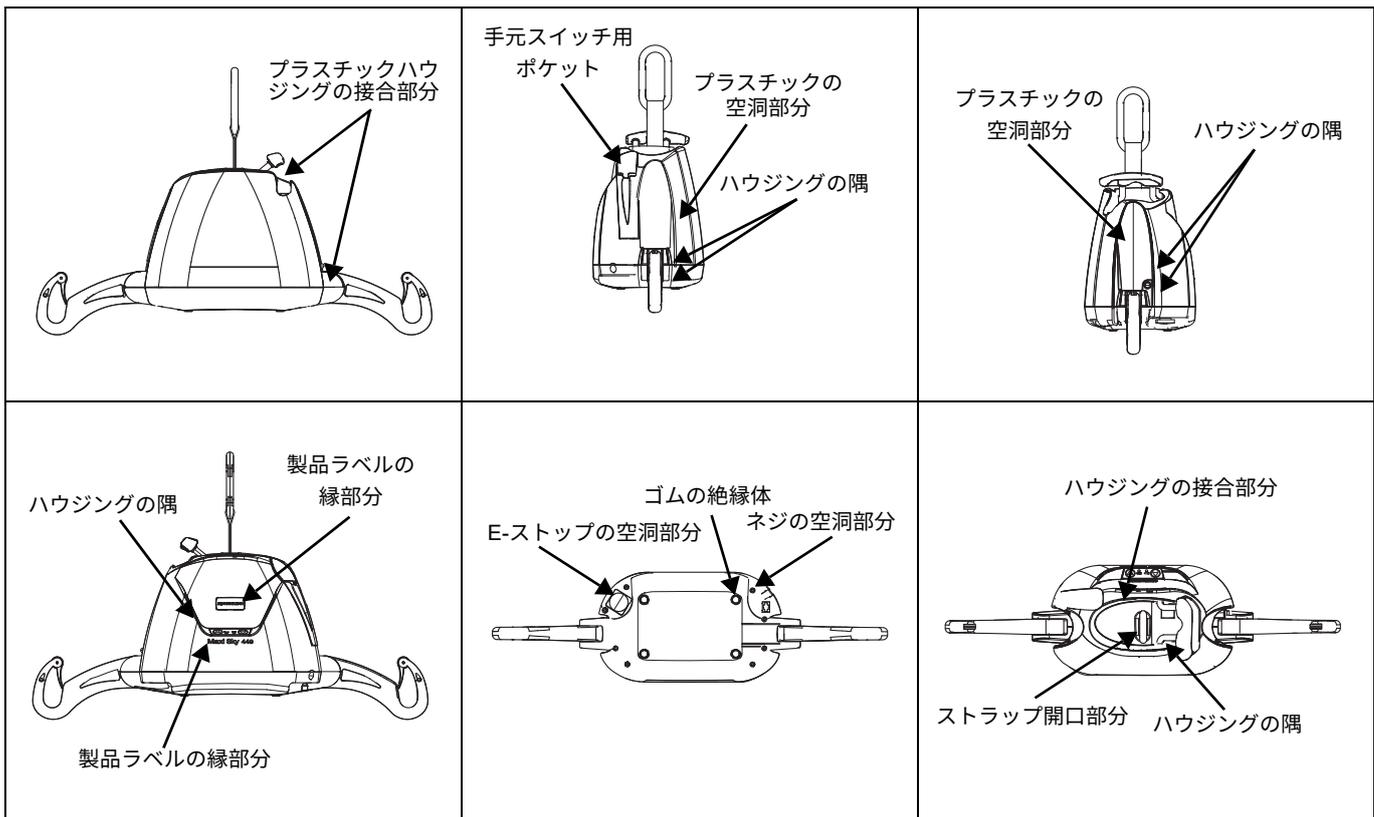


図 15

保守・点検とメンテナンス

イソプロピルアルコール70%のv/v溶液を染みこませた消毒薬ウェットティッシュを使うこともできます。

ワイプを使うときは、表面全体が効果的に消毒されるように、リフトをしっかりとこすってください。表面の仕上げを損なう可能性のあるフェノール、塩素または他のタイプの溶媒は使用しないでください。

注記：本リフトとスリングは、異なる患者が使用する場合および / または感染の疑いがある場合には洗浄してください。

注意：本製品に水をかける、水浸しする、または水中に入れたりしないでください。本リフトは電気製品ですので、水によって損傷する可能性があります。

トロリーホイールの良好な接地面を確保するため、レールの内部を4ヶ月に1度は清掃してください。この清掃は、湿らせた布を開口部に挿入し、レールの端から端までスライドさせることで行えます。

ストラップの点検

ストラップが損傷している場合や、磨耗または変色の兆候が現れている場合、ストラップ破断前の安全耐荷重が急速に低下する可能性があります。Arjoは、以下の通りストラップに対して、2ヶ月毎にストラップの徹底的な点検を推奨します。

- 1) ストラップを完全に巻き戻します。
- 2) 磨耗または変色の兆候の有無を観察します(を参照)。

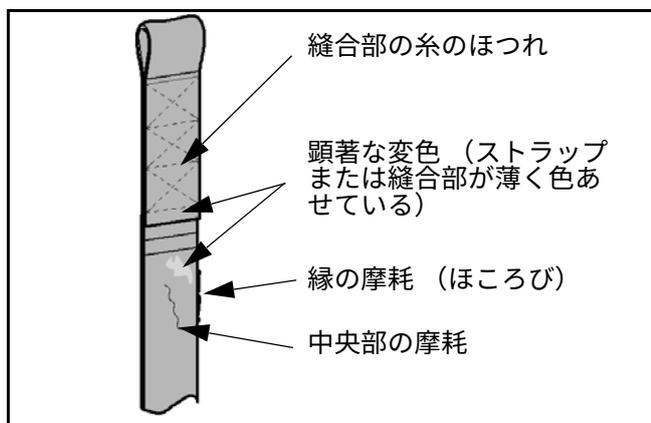


図 16

警告：上記のような摩耗の兆候、あるいは他の視認できる欠陥がある場合、ストラップは有資格担当者が点検し、必要であれば交換する必要があります。

当メーカーは、少なくとも2年ごと、または2850サイクルごと（いずれか早い方）にストラップを交換することを推奨します。

損傷したストラップを交換せずにリフトを継続使用すると、介助者または患者の安全性が大幅に損なわれます。

取り扱いと保管方法

リフトの輸送時は激しい衝撃を避けてください。

本リフトは、バッテリーの充電を行うことなく長期間にわたって保管しないでください。

注記：Arjoは、リフトを使用しない場合でも、少なくとも2週間に1回はバッテリーを充電することを推奨します。これにより、バッテリーの早期劣化を防止出来ます。

Maxi Sky 440を保管または出荷する場合は、その前に電源がオフ（緊急ボタンが押された状態）になっていることを確実にしてください。

バッテリーの交換

バッテリーの交換は、1回の充電で実行可能な乗回数が増減した時点で行って下さい。Maxi Sky 440ピーという音が聞こえるときは、取扱説明書の「トラブルシューティング」の項目を参照して、バッテリーに問題がないか検査します。

バッテリーの交換は、最寄りのArjo代理店にお問い合わせください。

注意：Arjoから供給されていないバッテリーを使用しないでください。これらのバッテリーは、Arjo充電システムの為に特別に設計されています。認定されていないバッテリーの使用は、リフトおよび / または充電器を著しく損傷する恐れがあります。

充電器電源の電源

Maxi Sky 440にバッテリーが正しく取り付けられているのにライトが点灯しない場合は、以下のことを試してください：

- 1) 充電器がACコンセントに正しく差し込まれていることを確認します。
- 2) 充電器コネクタが本製品に適正に接続されていることを確認します。

保守・点検とメンテナンス

- 3) 壁のACコンセントの電源をチェックします。
- 4) 充電器のインジケータ（黄）が点灯しない場合は、最寄の Arjo 代理店にご連絡の上、サポートを依頼して下さい

スリングの点検および管理

スリングに同梱されている添付文書を参照してください。

年次点検

Maxi Sky 440 は有資格技術者によって点検される必要があります。

警告：Maxi Sky 440 と付属品は、必要最小限の要件として 12 ヶ月ごとに点検・整備してください。可動部品は摩耗の影響を受ける可能性があります。本製品の点検・整備の不備は、患者の落下やケガの原因になります。点検を試みないでください。

メンテナンス要件

Maxi Sky 440 には電子モニターが搭載されており、保守点検が必要になると赤のランプが点滅します。定期的な点検の実施は、本製品の耐久性および患者とユーザー両者の安全を確保します。

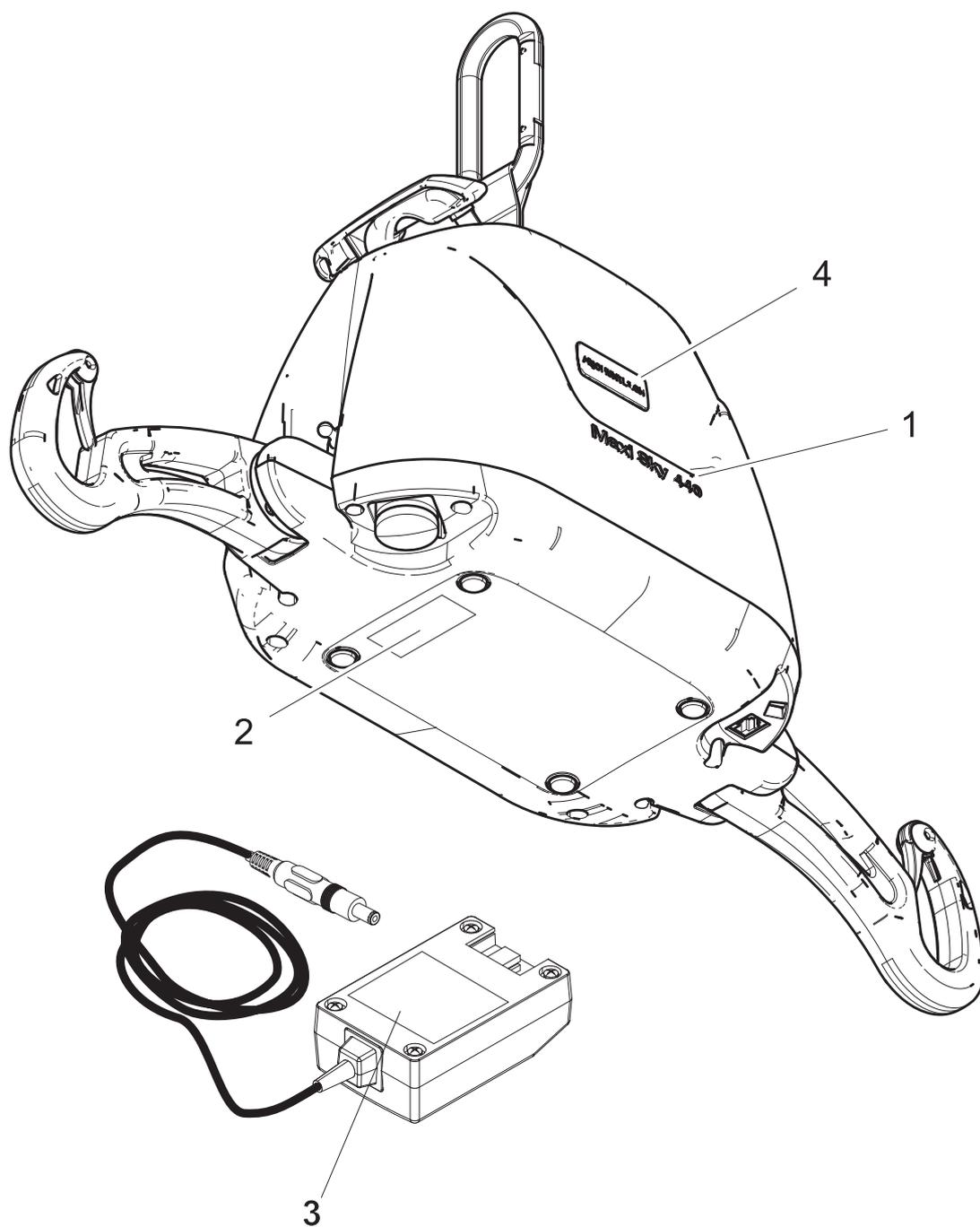
赤ランプが点滅を開始したら必要な点検・整備を行うため、最寄の Arjo 代理店にご連絡下さい。

トラブルシューティング

警告：Maxi Sky 440 ポータブルリフトの分解を試みないでください。有資格技術者のみが、本リフトを開く権限を与られています。有資格技術員以外の方がポータブルリフトにポータブルリフトに変更を加えることは、危険な怪我をもたらす可能性があります。

問題	点検確認事項
赤の「サービス」ランプが点灯し、点滅している。	<ul style="list-style-type: none">最寄りの Arjo 代理店に連絡して保守を行います。
本製品が起動と停止を反復する。	<ul style="list-style-type: none">負荷が本製品の安全耐荷重を超えている場合は、モーターの過負荷保護により作動しません。バッテリー残量が低下していますので、交換の必要があります。最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。
本リフトが使用中に「ピープ音」を発する。本製品が、患者を上昇させることができなくなりますが、患者を下降させることはできます。	<ul style="list-style-type: none">バッテリーの残量が低下していますので、充電が必要です。
本充電器が本リフトに接続されているとき、本リフトの充電インジケータ（黄色）が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">本充電器のプラグが標準電源コンセントに「差し込まれていること、そしてそのコンセントに電流が流れていることをチェックしてください。
ハンドコントロールのボタンを押してもリフトが作動しない。	<ul style="list-style-type: none">緊急停止機能が作動している場合は、緊急ボタンをゆっくりと解除してください。本リフトのボタンが機能しているかどうかをチェックしてください。機能している場合は、ハンドコントロールに問題がある可能性があります。機能していない場合は、本リフトの充電状態をチェックしてください。ハンドコントロールのプラグがリフトに正しく差し込まれているかどうかを確認します。ハンドコントロールがソケットからわずかに引き抜かれていても、一見では正常に差し込まれているように見えることがあります。きちんと接続されているかを点検確認してください。上記のすべての点検後にも本リフトが動作しない場合は、最寄りの Arjo 代理店までご連絡ください。

本製品上のラベル



- 1) 製品名
- 2) シリアル番号ラベル
- 3) 充電器情報
- 4) ロゴステッカー

図 17

製品情報	
総重量	6.5 kg (14.3 lb)
持ち上げ能力 (SWL)	200 kg (440 lb)
ストラップ長	2200 mm (88 in)
持ち上げスピード	4.3 cm/s (1.7 in/s)
移乗の操作力	< 5 N (取付装置)
電気仕様	
デューティサイクル	最大 10%、6 分 / 時、(最大 1 分間連続)
定格	24 VDC、最大 10 A
負荷 / 無負荷での昇降時のノイズレベル	54 dBAmax.
ヘルスケア・福祉機器	IEC 60601-1 に基づく感電に対する BF 型保護。
Maxi Sky 440 は、適用される規則や各国別の要求項目を含む IEC 60601-1 シリーズに適合しています。 Maxi Sky 440 も、ISO 10535 基準に適合しています。	
<p>警告：ポータブル RF 通信機器（アンテナケーブルや外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、メーカー指定のケーブルを含む Maxi Sky 440 のすべての部品から 30 cm 以上離して使用しなければなりません。守らない場合、この機器の性能が低下することがあります。詳細は「電磁両立性」の項目を参照してください。</p>	
バッテリーと充電器	
バッテリー	数量：充電式 12 VDC、2.3 Ah ×2
バッテリー容量	80 kg (176 lb) の負荷で最大 30 回移送できます。
保護等級 - ハンドコントロール	IPX7
保護等級 - Maxi Sky 440	IP21
リフト - 保護クラス - 感電防止	内部電源機器
バッテリー充電器入力	100-240 VAC、50 ~ 60 Hz、50 VA
バッテリー充電器出力	24 VDC, 24 VA, 28.1 Vdc, 1 A
バッテリー充電器の安全保護	クラス 2、二重絶縁
操作条件	
周囲温度の範囲	+5 °C ~ +40 °C (+41 °F ~ +104 °F)
相対湿度の範囲	15% ~ 93%、結露なし
大気圧の範囲	700 hPa ~ 1060 hPa (最大 2000 m)
保管条件	
周囲温度の範囲	-25 °C ~ +70 °C (-13 °F ~ +158 °F)
相対湿度の範囲	最大 93 %、結露なし
大気圧の範囲	500 ~ 1060 hPa
<p>警告：本製品は、空気や酸素、または亜酸化窒素との可燃性麻酔薬混合ガスがある所では使用、または保管しないで下さい。この環境で Maxi Sky 440 を使用すると、爆発の原因となることがあります。本リフトは、内部で何らかの火花が発生した場合、気体を点火する可能性があります。</p>	
使用終了後の安全な廃棄	
梱包	段ボール箱、リサイクル可能。発泡スチロール (EPS)、リサイクル可能。
電気および電子部品	電気および電子部品または電気コードがあるリフト関連製品は、電気・電子機器の廃棄 (WEEE) または地方自治体あるいは国の法令に従って分解し、リサイクルしてください。
スリング	補強材、安定材、緩衝材およびその他の繊維またはポリマー、プラスチック材等を含むスリングは、可燃性廃棄物に分類してください。

技術仕様

バッテリー	密閉形鉛蓄電池、充電式、リサイクル可能。製品に付属しているすべてのバッテリーは別々にリサイクルしなければなりません。バッテリーは、国または地方条例に従って廃棄してください。
本リフト	分別してリサイクル。トロリー、スリングバー、レール、レール保持部材のような主にさまざまな金属で構成される部品（重量で90%以上が金属）は、金属としてリサイクルしてください。

リフト寸法

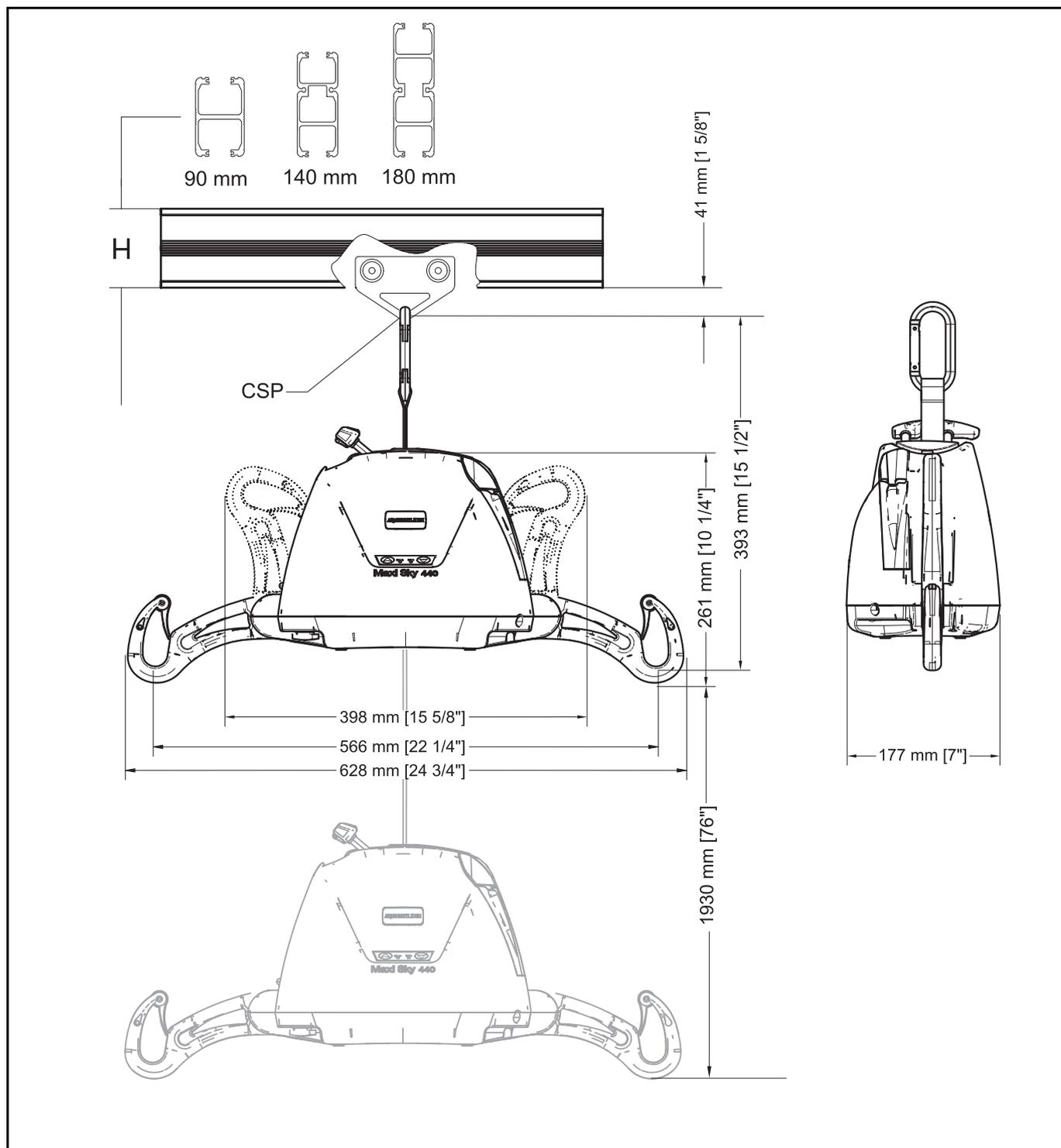


図 18

警告：KWIKtrak ではなく、レールシステムのために KWIKtrak 以外のレールシステム適合リフトに同梱の追加情報を参照してください。

電磁コンプライアンス

Maxi Sky 440 は、外部環境から EMI（電磁干渉）を遮断する能力に関して現行の規制基準への準拠がテストされています。

しかしながら、一部の手順は電磁干渉の軽減に役立ちます。

- 患者のモニタリングおよび / または生命維持装置などが、電磁エミッション規格に準拠しているか確認してください。
- 電子医療機器装置間の距離を最大にしてください。高性能装置は天井走行リフトに影響を及ぼしかねない電磁干渉を発生することがあります。

本製品の RF（無線周波数）電磁環境をどのように管理するかについての詳しい情報は、AMI TIR 18-1997 - *Guidance on Electromagnetic Compatibility of Medical Devices for Clinical/Biomedical Engineers*（臨床技師 / 医用生体技師のための医療装置の電磁両立性に関するガイダンス）を参照してください。

警告：Arjo が指定または提供していないアクセサリ、コード、交換部品を使用すると、この機器における電磁エミッションの増加または電磁免疫性の減少を引き起こし、不適切な動作につながる可能性があります。

警告：本製品を他の機器に隣接して、または他の機器と積み重ねて使用すると、誤作動することがあります。このような使用方法が必要な場合、本製品と他の機器を観察して、正常に作動しているか、まず確認してください。

警告：本製品は電波障害を起こしたり、近くの機器の動作を妨害することがあります。まわりの機器の再配線、再配置あるいは場所を隔離するなどの措置が必要になることがあります。

電磁エミッション

ガイダンス およびメーカーの宣言 - 電磁エミッション - 全機器およびシステム用

Maxi Sky 440 は以下に示される電磁環境での使用を意図しています。Maxi Sky 440 の顧客またはユーザーは、製品がこの様な環境下で使用できることを確認しなければなりません。

エミッション試験	コンプライアンス	電磁環境 - ガイダンス
RF エミッション CISPR 11	グループ 1	Maxi Sky 440 は、家庭用施設、および家庭用に使用される建物に供給する公共低電圧電力供給ネットワークに直接接続されたものを含む、あらゆる施設での使用に適しています。
RF エミッション CISPR 11	クラス B	
高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	準拠	

電磁両立性

電磁イミュニティ

ガイダンス およびメーカーの宣言 - 電磁イミュニティ - 全機器およびシステム用

Maxi Sky 440 は以下に特定される電磁環境での使用を目的としています。 Maxi Sky 440 の顧客またはユーザーは、製品がこの様な環境下で使用できることを確認しなければなりません。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	コンプライアンスレベル	電磁環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV 接触 ±15 kV 空中	±8 kV 接触 ±15 kV 空中	床はフローリング、コンクリートあるいはセラミックタイルにしてください。床が合成材に変更された場合、相対湿度は最低30%にしなければなりません。
電氣的ファースト・トランジェント / バースト IEC 61000-4-4	±2 kV、AC メイン用 ±1 kV、入出力ポート用 100 kHz 繰返し周波数	±2 kV、AC メイン用 ±1 kV、入出力ポート用 100 kHz 繰返し周波数	電源品質は一般的な商用あるいは病院環境のそれと同等としてください。
サージ IEC 61000-4-5	±2 kV、交流主電源、ライン - アース間 ±1 kV、交流主電源、ライン - ライン間	±2 kV、交流主電源、ライン - アース間 ±1 kV、交流主電源、ライン - ライン間	電源品質は一般的な商用あるいは病院環境のそれと同等としてください。
電源入力ライン上の電圧降下、中断および電圧変動 IEC 61000-4-11	0 % U_T 、0.5 サイクル 0°、45°、90°、135°、180°、225°、270° および 315° にて 0 % U_T 、1 サイクル および 70 % U_T 、25/30 サイクル 単相：0° にて 0 % U_T 、250/300 サイクル	0 % U_T 、0.5 サイクル 0°、45°、90°、135°、180°、225°、270° および 315° にて 0 % U_T 、1 サイクル および 70 % U_T 、25/30 サイクル 単相：0° にて 0 % U_T 、250/300 サイクル	電源品質は一般的な商用あるいは病院環境のそれと同等としてください。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m 50/60 Hz にて	30 A/m 50/60 Hz にて	電力周波数磁場は、一般商用または病院環境での典型的な場所と同じ特性レベルにしてください。

注記： U_T は、テストレベルの適用前における AC 電源の電圧です。

(続く)

ガイダンス およびメーカーの宣言 - 電磁イミュニティ - 全機器およびシステム用			
イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	コンプライアンスレベル	電磁環境 - ガイダンス
伝導性 RF IEC 61000-4-6	0.15 ~ 80 MHz 間の ISM 周波数帯外 3 V 0.15 ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯内 6 V	0.15 ~ 80 MHz 間の ISM 周波数帯外 3 V 0.15 ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯内 6 V	該当なし
放射 RF IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz	10 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz	該当なし
RF 無線通信機器の近接フィールド、 IEC 61000-4-3	380 ~ 390 MHz 27 V/m、PM 50 %、18 MHz 430 ~ 470 MHz 28 V/m; (FM ±5 kHz, 1 kHz 正弦) PM; 18 Hz 800 ~ 960 MHz 28 V/m; PM 50 %; 18 Hz 1700 ~ 1990 MHz 28 V/m; PM 50 %; 217 Hz 2400 ~ 2570 MHz 28 V/m; PM 50 %; 217 Hz 5100 ~ 5800 MHz 9 V/m; PM 50 %; 217 Hz 704 ~ 787 MHz 9 V/m; PM 50 %; 217 Hz	380 ~ 390 MHz 27 V/m、PM 50 %、18 MHz 430 ~ 470 MHz 28 V/m; (FM ±5 kHz, 1 kHz 正弦) PM; 18 Hz 800 ~ 960 MHz 28 V/m; PM 50 %; 18 Hz 1700 ~ 1990 MHz 28 V/m; PM 50 %; 217 Hz 2400 ~ 2570 MHz 28 V/m; PM 50 %; 217 Hz 5100 ~ 5800 MHz 9 V/m; PM 50 %; 217 Hz 704 ~ 787 MHz 9 V/m; PM 50 %; 217 Hz	該当なし

意図的に空白

意図的に空白

意図的に空白

AUSTRALIA

Arjo Australia
Building B, Level 3
11 Talavera Road
Macquarie Park, NSW, 2113, Australia
Phone: 1800 072 040

BELGIQUE / BELGIË

Arjo Belgium nv
Evenbroekveld 16
9420 Erpe-Mere
Belgium
T: +32 (0) 53 60 73 80
F: +32 (0) 53 60 73 81
E-mail: info.belgium@arjo.com

BRASIL

Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda
Rua Marina Ciufulli Zanfelice, 329 PB02 Galpão
- Lapa
São Paulo – SP – Brasil
CEP: 05040-000
Phone: 55-11-3588-5088
E-mail: vendas.latam@arjo.com
E-mail: servicios.latam@arjo.com

CANADA

Arjo Canada Inc.
90 Matheson Boulevard West
Suite 300
CA-MISSISSAUGA, ON, L5R 3R3
Tel/Tél: +1 905 238 7880
Free: +1 800 665 4831 Institutional
Free: +1 800 868 0441 Home Care
Fax: +1 905 238 7881
E-mail: info.canada@arjo.com

ČESKÁ REPUBLIKA

Arjo Czech Republic s.r.o.
Na Strži 1702/65
140 00 Praha
Czech Republic
Phone No: +420225092307
e-mail: info.cz@arjo.com

DANMARK

Arjo A/S
Vassingerødvej 52
DK-3540 LYNGE
Tel: +45 49 13 84 86
Fax: +45 49 13 84 87
E-mail:
dk_kundeservice@arjo.com

DEUTSCHLAND

Arjo GmbH
Peter-Sander-Strasse 10
DE-55252 MAINZ-KASTEL
Tel: +49 (0) 6134 186 0
Fax: +49 (0) 6134 186 160
E-mail: info-de@arjo.com

ESPAÑA

Arjo Ibérica S.L.
Parque Empresarial Rivas Futura, C/Marie Curie 5
Edificio Alfa Planta 6 oficina 6.1-62
ES-28521 Rivas Vacia, MADRID
Tel: +34 93 583 11 20
Fax: +34 93 583 11 22
E-mail: info.es@arjo.com

FRANCE

Arjo SAS
2 Avenue Alcide de Gasperi
CS 70133
FR-59436 RONCQ CEDEX
Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13
Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14
E-mail: info.france@arjo.com

HONG KONG

Arjo Hong Kong Limited
Room 411-414, 4/F,
Manhattan Centre,
8 Kwai Cheong Road,
Kwai Chung, N.T.,
HONG KONG
Tel: +852 2960 7600
Fax: +852 2960 1711

ITALIA

Arjo Italia S.p.A.
Via Giacomo Peroni 400-402
IT-00131 ROMA
Tel: +39 (0) 6 87426211
Fax: +39 (0) 6 87426222
E-mail: Italy.promo@arjo.com

MIDDLE EAST

Arjo Middle East FZ-LLC
Office 908, 9th Floor,
HQ Building, North Tower,
Dubai Science Park,
Al Barsha South
P.O Box 11488, Dubai,
United Arab Emirates
Direct +971 487 48053
Fax +971 487 48072
Email: Info.ME@arjo.com

NEDERLAND

Arjo BV
Biezenwei 21
4004 MB TIEL
Postbus 6116
4000 HC TIEL
Tel: +31 (0) 344 64 08 00
Fax: +31 (0) 344 64 08 85
E-mail: info.nl@arjo.com

NEW ZEALAND

Arjo Ltd
34 Vestey Drive
Mount Wellington
NZ-AUCKLAND 1060
Tel: +64 (0) 9 573 5344
Free Call: 0800 000 151
Fax: +64 (0) 9 573 5384
E-mail: nz.info@Arjo.com

NORGE

Arjo Norway AS
Olaf Helsets vei 5
N-0694 OSLO
Tel: +47 22 08 00 50
Faks: +47 22 08 00 51
E-mail: no.kundeservice@arjo.com

ÖSTERREICH

Arjo GmbH
Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG
A-1230 Wien
Tel: +43 1 8 66 56
Fax: +43 1 866 56 7000

POLSKA

Arjo Polska Sp. z o.o.
ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2
PL-62-052 KOMORNIKI (Poznań)
Tel: +48 61 662 15 50
Fax: +48 61 662 15 90
E-mail: arjo@arjo.com

PORTUGAL

Arjo em Portugal
MAQUET Portugal, Lda.
(Distribuidor Exclusivo)
Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G
PT-1600-233 Lisboa
Tel: +351 214 189 815
Fax: +351 214 177 413
E-mail: Portugal@arjo.com

SUISSE / SCHWEIZ

Arjo AG
Fabrikstrasse 8
Postfach
CH-4614 HÄGENDORF
Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77
Fax: +41 (0) 61 311 97 42

SUOMI

Arjo Scandinavia AB
Riihitontuntie 7 C
02200 Espoo
Finland
Puh: +358 9 6824 1260
E-mail:
Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

SVERIGE

Arjo International HQ
Hans Michelsensgatan 10
SE-211 20 MALMÖ
Tel: +46 (0) 10 494 7760
Fax: +46 (0) 10 494 7761
E-mail: kundservice@arjo.com

UNITED KINGDOM

Arjo UK and Ireland
Houghton Hall Park
Houghton Regis
UK-DUNSTABLE LU5 5XF
Tel: +44 (0) 1582 745 700
Fax: +44 (0) 1582 745 745
E-mail: sales.admin@arjo.com

USA

Arjo Inc.
2349 W Lake Street Suite 250
US-Addison, IL 60101
Tel: +1 630 307 2756
Free: +1 800 323 1245 Institutional
Free: +1 800 868 0441 Home Care
Fax: +1 630 307 6195
E-mail: us.info@arjo.com

JAPAN

Arjo Japan K.K.
東京都港区虎ノ門三丁目7番8号 ランディック第
2虎ノ門ビル9階
電話 : +81 (0)3-6435-6401

Address page - REV 25: 01/2020

At Arjo, we are committed to improving the everyday lives of people affected by reduced mobility and age-related health challenges. With products and solutions that ensure ergonomic patient handling, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the effective prevention of pressure ulcers and venous thromboembolism, we help professionals across care environments to continually raise the standard of safe and dignified care. Everything we do, we do with people in mind.



ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö, Sweden
www.arjo.com

arjo



001.16000.33.JP

